

平成16年度予算を可決

一般会計534億円、特別会計との総額922億円

小平市国民健康保険条例を改正

国民健康保険税を引き上げ

市議会3月定例会は、2月24日から3月23日までの29日間にわたって開かれました。

今定例会では、安定した公的年金制度の確立等に関する意見書など8件の議員提出議案、平成16年度一般会計予算など27件の市長提出議案、並びに市民の皆様から提出された20件の請願について審議しました。

また、市政全般にわたって、24人の議員から60件の一般質問がありました。

議 会 日 誌

(本会議、委員会、諸会議など)

1月

- 13日 議会報編集委員会
- 14日 湖南衛生組合議会臨時会
- 21日 広島県大崎上島町議会議員視察来庁
(幼稚園アットホーム事業)
- 26日 東京都四市競艇事業組合議会行政視察(兵庫県神戸市、滋賀県大津市、28日まで)
- 28日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 29日 三多摩上下水及び道路建設促進協議

会第2委員会

2月

- 2日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
- 5日 総務委員会
- 6日 生活文教委員会
- 9日 厚生委員会
- 10日 建設委員会
- 12日 全員協議会
市議会議員研修会
- 13日 東京都十一市競艇事業組合議会
東京都四市競艇事業組合議会
- 16日 幹事長会議
- 17日 湖南衛生組合議会
東京都市議会議員研修会

18日 昭和病院組合議会

19日 幹事長会議(臨時)

議会運営委員会

20日 小平・村山・大和衛生組合議会

多摩北部都市広域行政圏協議会審議会

24日 3月定例会本会議初日

25日 3月定例会本会議2日目(一般質問)

多摩六都科学館組合議会

26日 3月定例会本会議3日目(一般質問)

27日 3月定例会本会議4日目(一般質問)

東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会

3月

2日 一般会計予算特別委員会(4日まで)

5日 特別会計予算特別委員会

9日 総務委員会

10日 生活文教委員会

11日 厚生委員会

12日 建設委員会

17日 幹事長会議

18日 議会運営委員会

23日 3月定例会本会議最終日

幹事長会議(臨時)

議会運営委員会(臨時)

議会報編集委員会

24日 岐阜県恵那市議会議員視察来庁(高齢者館さわやか館)

29日 東京都四市競艇事業組合議会臨時会

30日 東京都十一市競艇事業組合議会臨時会

小平の緑の保全

加藤俊彦議員（公明） ①市の現在の緑被率は。

②雑木林、竹林等の面積は。
 ③今後、緑の保全や回復にどのように対応するか。
 市長 ①平成5年で37・4%だったが、現在は当時より減少していると思われる。

②雑木林が約16万5百平方メートル、竹林が約1万平方メートル等である。

③緑の基本計画を策定し、緑の目標等について方針を定めた。道路等の緑化を図り緑豊かなまちづくりを推進していく。

※緑被率とは

割合のこと。

グリーンロード 日本一宣言に向かって

永田政弘議員（政和） ①玉川上水の回の史跡指定に伴う文化財課・公園緑地課の取り組みは。
 ②グリーンロードの利用状況

イレの設置計画はあるか。

⑤案内表示板設置の充実を進めていくべきと思うがどうか。

市長 ①史跡指定による特別な取り組みは行っていない。

②利用者はふえている。

③隣接する公園や施設の23か所にトイレを設置している。

④今後検討していきたい。

⑤駅周辺に整備してきた。



小平市の緑 グリーンロード

一般質問のまとめ

平成15年6月定例会～平成16年3月定例会

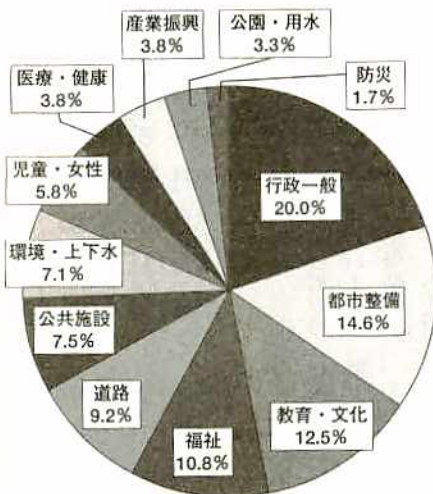
質問者数・件数

定例会名	質問人数	質問件数
15年 6月	23	64
15年 9月	21	55
15年12月	24	61
16年 3月	24	60
合計	92	240
平均	23.0人	60.0件

項目別件数

項目	件数
行政一般	48
都市整備	35
教育・文化	30
福祉	26
道路	22
公共施設	18
環境・上下水	17
児童・女性	14
医療・健康	9
産業振興	9
公園・用水	8
防災	4
合計	240件

項目別割合



※構成比は四捨五入して表示

一般質問

産業振興

小口事業資金 融資制度の充実

永田政弘議員（政和） ①これまでの実績を振り返っての思いはどうか。

②利用件数、金額等の推移は。③融資額、融資枠とも、どういう方向で考えているか。

④設備資金融資の増額と創業者融資の新設は考えられないか。

市長 ①小規模事業者の自主的な経済活動を支援するなど役割

教育長 ①組織的、計画的に取り組む。教職員の研修は重要な課題である。

②具体的な設置は未定である。③特別な教育的支援を要する児童・生徒の指導のあり方等を検討する組織とらえている。④情報を収集し、生かしたい。

※特別支援教育とは

従来の特殊教育の対象の障害だけでなく、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症を含めて、障害のある児童・生徒に対して適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うこと。

を果たしてきたと認識している。

②運転資金では、平成14年度は162件、5億7千9百10万円等である。

③経済状況の変化などに応じて、制度の見直しをする必要性はあると考える。

④今後検討していきたい。

市内出店する商店に

地元商店街組織への加入を

永田政弘議員（政和） ①商店街組織率の減、課題について、

どう認識しているか。

②組織率増のために、行政としてどういう方向で考えるか。何らかの働きかけ、条例化等は考えられないか。

市長 ①組織的に対応することは商店街の活性化に必要と認識している。減少の要因としては、景気の低迷等から地元商店街組織との協力関係が希薄になっていないかと考える。

②自主的な当事者の努力が基本と考える。商店街組織には商工会と連携し補助事業などを通じて支援等をしていく。条例化については、4月から施行する世田谷区の状況等を見守りたい。

掲載分以外の 質問項目

〔行政一般〕

小平市インターネット構築

について

永田政弘